

2011年3月7日

各 位

三井化学株式会社

医療用接着剤の開発について

当社（社長：田中稔一）は、手術時の切開部接着に用いる医療用接着剤を新たに開発いたしました。現在、薬事法に基づく承認に向けた手続きを行っており、2011年内の上市、販売を目指してまいります。

従来、手術後の切開創の閉鎖には縫合糸やステープラー（固定針）が使用されるのが主流です。しかし、最近では切開創の傷痕を目立たなくすること及び感染を防止することを目的に、医療用接着剤をこれらの代わりに使用した最新施術が行われております。医療用接着剤の世界市場は既に2009年で6億5千万ドルとなっており、今後の成長率は12%以上と言われております。

当社が開発した医療用接着剤は、既存の接着剤に比べて粘性が高く創内へ垂れ込みにくいいため、治癒阻害が少ないと考えられております。また、当社独自の触媒技術を導入しているため、既存の接着剤に比べ副生物が少なく炎症が起こりにくいという特長があります。さらに、この接着剤の成分は医療分野で30年以上にわたり使用されており、安全性についても実証済みです。現在、北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター黒柳能光教授の下で有用性等の評価を実施して頂いており、本成果につきましては、第10回日本再生医療学会総会（3月1日、京王プラザホテル）におきまして報告がされました。

当社グループでは、2011年度から始まる3か年の中期経営計画において、ヘルスケア領域を含む精密化学品事業を、景気変動を受けにくい「重点5事業」の一つに位置付けております。今回開発した医療用接着剤をはじめ、今後も新製品の創出を通じ、広く社会に貢献するとともに、事業ポートフォリオの変革を進めてまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 IR・広報部長 裾分 啓士

TEL 03-6253-2100